

平成27年国勢調査有識者会議（第2回） 議 事 要 旨

1. 日 時 平成25年12月3日（火）15：30～18：10
2. 場 所 総務省第二庁舎6階特別会議室
3. 出席者
構 成 員：堀部政男座長，太田真嗣委員，大林千一委員，菅幹雄委員，萩原雅之委員，坂東眞理子委員，廣松毅委員
オブザーバー：宮内和宏東京都総務局統計部人口統計課長
今井圭巖岐阜市企画部統計分析課長
田村光大阪市都市計画局企画振興部統計調査担当課長
総 務 省：會田統計調査部長，井上調査企画課長，岩佐国勢統計課長，村田国勢統計課調査官，小松崎国勢統計課環境整備企画官 他
4. 議 事
(1) 平成27年国勢調査有識者会議各WGの実施状況について
(2) 平成27年国勢調査第3次試験調査の実施計画案について
(3) その他
5. 配布資料
資料1 平成27年国勢調査有識者会議各WGの開催状況について
資料2－1 平成27年国勢調査第2次試験調査の結果の概要
資料2－2 平成27年国勢調査第2次試験調査 実施状況等報告書
資料3－1 平成22年国勢調査の広報実績
資料3－2 平成27年国勢調査の広報について
資料4－1 平成27年国勢調査の実施に向けた市区町村における実施状況把握の結果の概要
資料4－2 平成27年国勢調査に向けた今後の調査環境対策について
資料5－1 平成27年国勢調査第3次試験調査・本調査に向けた基本的な考え方（案）
資料5－2 平成27年国勢調査第3次試験調査の概要（案）
資料5－3 平成27年国勢調査（簡易調査）で追加・廃止を検討する調査項目（案）
資料6 平成27年国勢調査有識者会議における今後の検討スケジュールについて
参考 平成27年国勢調査有識者会議（第1回） 議事要旨
6. 議事要旨
○ 開会にあたり，堀部座長からあいさつ。
○ 事務局から資料に基づいて説明を行い，その後，意見交換が行われた。
○ これまでの議論を踏まえ，引き続き，各WGにおいて各分野の検討を進め，3月頃に開催する次回の有識者会議において，本年度の検討事項のとりまとめを行いたい。

【主な意見】

(1) 平成27年国勢調査有識者会議各WGの実施状況について

- 平成22年調査においては、広報イベントを催したようだが、イベントを催すのみでは得られる効果は限定的で、そのイベントが各種メディアに取り上げられてはじめて大きな効果が得られると思うので、運営の方法には工夫が必要。

(2) 平成27年国勢調査第3次試験調査の実施計画案について

- 調査項目の見直しに関して、今回、大規模調査年のみの項目である「5年前の居住地」を追加するとしているが、人口移動の状態を「居住期間」と組み合わせて調査する場合、「5年前の居住地」だとどこから移動してきたかが厳密にはわからず、東日本大震災の影響による状況を把握する目的であれば、「前住地」で調査するのがなじむのではないか。
- 調査妨害への対策について、調査への回答を逃れられる方法をネットに書き込むなど調査拒否を教唆するような事案が以前発生したと聞いているが、これに対しては何らかの対策を行うことが必要。
- 最近是中国からのサイバー攻撃を受けサーバーダウンとなる事案が多々見受けられるようである。オンライン先行方式による全国でのオンライン調査の導入が計画されているが、オンライン回答を積極的に広報したためにサイバー攻撃の標的になってしまうことも考えられる。システムの仕組みとして何らかの手立てを考えることが必要。

<文責：事務局（今後、修正することがあり得ます。）>

以 上